

MSKミュージックワールド
被災地支援コンサート

創立 10 周年記念

混声合唱団 あかり

第 10 回定期演奏会

2020 年 4 月 29 日 (水・祝)

14:00 開演 (13:30 開場)

調布市グリーンホール 大ホール

入場料 1,000 円 (全席自由)

- I 混声合唱組曲あしたの灯 門倉 諒作詞 吉岡 弘行作曲
- II Requiem 鈴木 憲夫作曲 【日本初演】
- III ミュージック・フェア イン AKARI
- メモリーソングより アメリカンフィーリング、紅いサラファン、おおスザンナ、群青 他
日本のうた 花～夏の思い出～霧と話した～雪の思い出～故郷
- ポップス・スクリーンミュージック・アリアより
私のお気に入り、雨にぬれても、ムーン・リバー、失礼な冗談ね 他

指揮 木野村 雅子

ピアノ 白石 光隆

電子オルガン 橘 光一

ソプラノ 根本 真澄
テノール 田中 雅史

<MSKアンサンブル>

V11 田尻かをり

V12 上野真理子

Va 浅川 文

Vc 小林 知子

F1 横田 美章

Cl 池田 めぐみ

Tim 荻原 松美

<チケット申込・お問い合わせ>
深町 090-8592-2444
E-mail/marchi@ozzio.jp

<後援：調布市音楽連盟>

＝平和と祈り＝

混声合唱団あかりが創立10周年を迎え、第10回記念定期演奏会を開催いたします。今回は記念演奏会ということで、小アンサンブルとソリストを迎えての演奏会となりました。元団員の方等も加わり賑やかな演奏会になりそうです。平和と祈りをテーマにしつつ、ご来場の皆様もご存じであろう身近な曲でプログラムを組んでおります。

Iステージは、団創立のきっかけとなりました混声合唱組曲「あしたの灯」。今回は、オケ版（小アンサンブル）で全曲演奏いたします。

IIステージは、「レクイエム」（鈴木憲夫作曲）の日本初演。昨年、シュテファン大聖堂での世界初演があり、本団からも有志が参加し歌ってまいりました。記念演奏会で演奏させていただきたいとお願いしたところご快諾いただき、日本での初演をさせていただくことになりました。シュテファンで一緒にだった方、元団員、くにたち混声合唱団ときわ有志の方なども加わっていただく予定です。オケ版（小アンサンブル）

IIIステージは、過去10年間で歌った曲から、前回、前々回と好評だったポップスメドレーをはじめ、日本の歌、スクリーンミュージック、オペラアリアなどジャンルを越えた「あかりメモリーソング」をお届けします。

休日のひととき、ご来場いただければ幸いです。

木野村 雅子（指揮）



国立音楽大学卒業。幼少の頃から音楽に親しみ、羽場和子・立川澄人・宍倉正信各氏にステージングを学ぶ。在学時代より児童合唱団指導の他、個人・合唱団などのピアノ伴奏で活躍。あかりでは創立当時（2010年）より指導にあたる。歌う・弾く・振る・創る他、一人で何役もこなす音楽の達人であり、それらを駆使しての企画力や指導・演出・編曲では定評がある。特に、ポピュラー曲・アリアなどのアレンジでは好評を得ている。

東日本大震災後、音楽を通して支援活動を展開し現地の子ども達との交流やジョイントコンサートを開催。震災直後作曲の「あきらめないで」は、釜石小学校の復興歌となった。2016年秋には、ハンガリー・オーストリアでの演奏会にゲスト出演する機会を得るなど、音楽的信頼も厚い。昨秋のシュテファン大聖堂レクイエム世界初演にも参加した。

現在、様々なニーズに合わせた個人・グループ・合唱団（「くにたち混声合唱団ときわ」「調布市医師会コーラス」など）の指導やコンサートの企画を通し、「音楽をする」楽しさや喜びを伝えている他、合唱講座の講師や各コンクール審査講評も務める。MSK ミュージックワールド主宰。平和と祈りをテーマに演奏活動を展開している。

白石 光隆（ピアノ）



東京藝術大学附属高等学校を経て、東京藝術大学、同大学院を修了。1989年ジュリアード音楽院へ進む。1990年ジーナ・バックウアー国際奨学金コンクール入賞。1991年学内におけるコンチェルト・コンペティションで優勝し、リンカーンセンターでジュリアード・オーケストラとラフマニノフ：ピアノ協奏曲第3番を協演。1992年帰国。

1994年第63回日本音楽コンクール声楽部門において、優れた日本歌曲の演奏に贈られる木下賞（共演）受賞。NHK-BS、NHK-FMなどにも多数出演。財団法人地域創造の公共ホール音楽活性化事業などの活動では全国を巡り、子どもたちへの教育プログラムにも積極的に取り組む他、後進の指導やさまざまなコンクールの審査員も務める。1年間の活動の集大成として、毎年定期的に東京で開催するソロリサイタルは2019年9月で32回を数えた。ピアノを金澤桂子、高良芳枝、故・伊達純、小林仁、マーティン・キャンンの各氏に、室内楽をフェリックス・ガリア、伴奏法をジョナサン・フェルドマンの各氏に師事。現在、東京藝術大学非常勤講師。

橋 光一（オルガン）



洗足学園短期大学音楽科電子オルガン専攻、同大学音楽学部パイプオルガン科卒業。全日本電子楽器教育研究会の新人演奏会、日本オルガニスト協会の新人演奏会に出演。カワイ音楽コンクール全国大会グランプリ受賞。オペラやミュージカルの伴奏、NHK「あいうえお」をはじめ、東京国際フォーラムのオープニングコンサート、長野パラリンピックカウントダウンコンサート、「さとうきび畑こんざと」（沖縄平和祈念堂・昭和女子大学人見記念講堂、東京オペラシティ）等、多くのコンサートに出演。CDにブルックナー交響曲第9・8・7番（キングインターナショナル）など多数。また、リトーマミュージック・ピアノスタイルにてアレンジ・模範演奏を手掛ける。新国立劇場開場記念公演「現代舞踊パノラマ展」では自作自演で好評を博す。また2005年7月には世界吹奏楽大会WASBE2005でシンガポールにてソリストとして出演、喝采を浴びる。2013年7月、被災地支援コンサート（北上市）に参加。電子オルガンを駆使しての宗教曲伴奏では好評を博している。現在、合唱団との共演や学校でのコンサートなど、プレイヤーとして活躍中。南魚沼市交流大使。

＜交通案内＞

京王線調布駅中央口下車 徒歩1分

- ・新宿駅から特急で約16分
- ・分倍河原駅から準特急で約10分
- ・橋本駅から急行で約22分

